

平成27年度第1回蓮田市上下水道事業審議会会議録

日時 平成27年7月24日（金）

午後2時00分～

会場 蓮田市浄水場

管理棟新館2階会議室

〈出席委員〉 門井隆会長、中野君男副会長、菊池義人委員、小林孝行委員、
小船明委員、齋藤千津子委員、佐藤嘉勝委員、田村節子委員、
戸谷ひろみ委員、早川悦夫委員、本橋稔委員、横山正巳委員

〈事務局〉 中野市長、亘上下水道部長、町田上下水道部次長兼水道課長、
細井下水道課長、川鍋水道課副主幹、小引水道課副主幹、
中田水道課副主幹、岡田下水道課副主幹、細沼水道課主査、
岩崎下水道課主事、山田水道課主事補

〈傍聴者〉 なし

- | | | | |
|---|-------------|---------------|----------------|
| 1 | 開 | 会 | 町田上下水道部次長兼水道課長 |
| 2 | 市長あいさつ | | 中野市長 |
| 3 | 委員の紹介 | | |
| 4 | 職員の紹介 | | |
| 5 | 会長、副会長の選出 | | |
| 6 | 会長、副会長のあいさつ | | 門井会長、中野副会長 |
| 7 | 議 | 事 | 門井会長 |
| | (1) | 水道事業の概要について | 中田水道課副主幹 |
| | (2) | 下水道事業の概要について | 細井下水道課長 |
| | (3) | 蓮田市水道ビジョンについて | 町田上下水道部次長兼水道課長 |
| | (4) | その他 | 岡田下水道課副主幹 |

8 連絡事項

町田上下水道部次長兼水道課長、
山田水道課主事補

9 閉 会

中野副会長

議事（１）についての主な質疑応答

委員：平成２４年度と比べて、平成２５年度では純利益が急激に上がっているが、これにはどのような理由があるのか。

事務局：消費税増税前の駆け込み需要により給水加入金の収入が増えたことや、人事異動により人件費が減ったことの差引によるところが大きい。

委員：現在の蓮田市の有収率は、近隣の市町と比べるとどの程度なのか。

また、過去と比べて有収率が上がったことにはどういう理由があるのか。

事務局：現在の有収率は、近隣の市町と比較しても遜色ないような数値である。過去と比べて有収率が上がったことに関しては、塩素のなくなった水を末端のバルブから排出する量が減ったこと等が影響している。

委員：人件費が減った理由は、職員が一人減ったからという認識でいいのか。また、委託料が増えた理由は何か。

事務局：職員が減ったわけではなく、人事異動で若手職員が増えたためである。委託料については、水道事業基本計画の見直しのための委託費を計上しているために増加した。

（２）についての主な質疑応答

委員：農業集落排水は、農家の人やその付近の人が対象か。

事務局：基本は農家の人を対象としているが、容量的に問題がなければ、農家でなくとも検討した上で接続を認めている場合もある。

委員：工事費用の設計は十分に見直しされ、適正であるのか。

事務局：原則として埼玉県が作成する積算基準を使用しており、市場単価等を考慮し

たものであるため、適正であると認識している。ただし、積算基準にないものについては、数社より見積りを取り、金額を比較している。

委員：下水道料金が上がったのに繰入金が昨年度より増えていることには、何が起因しているのか。

事務局：繰入金が増えたのは、予算総額全体が増えたことが一つの要因である。また、実際に新料金が適用されるのは12月請求分からになる。

委員：下水道の費用を減らすために、下水道課ではどのようなことを考えているのか。

事務局：職員数を減らしたり、市債を利率の低いものに借り換えたりと、今できることはやっているという認識でいるが、これからも我々ができることを探していくつもりである。

議題（3）についての主な質疑応答

委員：現状においては、管の口径は適正であるのか。

事務局：年々配水量は減ってきており、管の口径は過大ではないかという認識である。